

製品名: APHC ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07009**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	ACER3
別名	ACER3; APHC; PHCA; Alkaline ceramidase 3; AlkCDase 3; Alkaline CDase 3; Alkaline dihydroceramidase SB89; Alkaline phytoceramidase; aPHC
遺伝子 ID	55331.0
SwissProt ID	Q9NUN7
免疫原	抗血清はヒト PHCA 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

背景

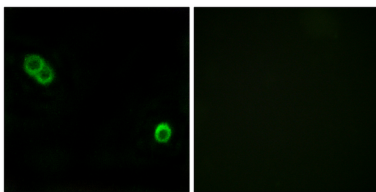
酵素制御: Ca(2+)によって活性化され、Zn(2+)によって阻害される。機能: フィトセラミドのみをフィトスフィンゴシンと遊離脂肪

酸に加水分解する。逆活性はない。類似性: アルカリセラミダーゼファミリーに属する。組織特異性: 普遍的に発現する。胎盤で最も高い発現を示す。酵素制御: Ca(2+)によって活性化され、Zn(2+)によって阻害される。機能: フィトセラミドのみをフィトスフィンゴシンと遊離脂肪酸に加水分解する。逆活性はない。類似性: アルカリセラミダーゼファミリーに属する。組織特異性: 普遍的に発現する。胎盤で最も高い発現を示す。、

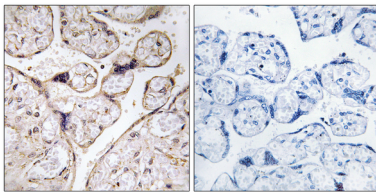
研究分野

スフィンゴ脂質代謝

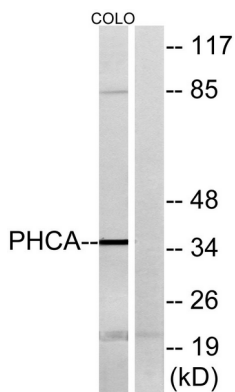
画像データ



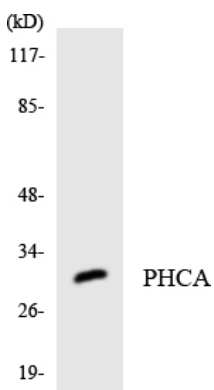
PHCA抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



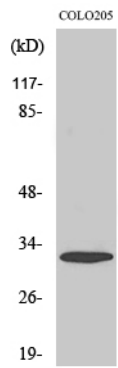
PHCA抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胎盤組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



PHCA抗体を用いたCOLO細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PHCA抗体を使用したHT-29細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



APHC ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析